

## チーム医療：呼吸ケアチーム（RST）

### —関係部署—

心臓血管外科	循環器内科
外科	口腔外科
血液内科	整形外科
総合内科・感染症内科	呼吸器外科
内科	

### —概要—

2010年度の診療報酬改定から、呼吸ケアチーム(RST: Respiratory care Support Team)加算が新設された背景から、当院でも同年よりRSTが結成された。

2017年度は呼吸器内科医師(1名)、集中ケア認定看護師(2名)、臨床工学技士(4名)、理学療法士(2名)が引き続きコアメンバーとなり、人工呼吸器離脱及び呼吸ケアに係る専任チームとして活動した。

RSTの目的は、人工呼吸器の離脱に向け、患者家族の苦痛緩和を含む呼吸管理および看護方法の相談を受け、医療チームを支援することである。安全な呼吸ケア提供のために必要な知識を医療者に提供し、医療の質向上を目指した。

昨年度のRST対象患者は7名であったが、今年度は43人と大幅に増加した。

活動内容は週1回のラウンド【毎週水曜14時から1時間程度で対象患者は1～数名】に加え、定期ラウンド以外にも個人ラウンド(メンバーが単独で訪問し、主治医・受け持ち看護師と共にケアを実施)を行った。当該部署でのケア継続のために、回診時はRST診療録の記載と、回診内容の口頭・メール伝達を行った。スムーズな呼吸器離脱とその後の呼吸ケアについて助言・支援し、患者の心身の苦痛緩和、安全確保、看護師のケア能力の向上を目指して相談を受け支援を行った。

呼吸ケアに関するデータ収集(人工呼吸器離脱率や再挿管率・離脱成功基準や失敗の理由・依頼状況や要因・人工呼吸器離脱患者数・人工呼吸器日数など)も、継続して行った。

### —実績—

RST対象患者は43人(内、挿管患者36名)

総回診数47回

呼吸ケアに関するデータ収集結果

呼吸器離脱率 70% (24名)

再挿管率 4% (1名)

介入から呼吸器離脱までの平均日数9日

看護局の教育委員会主催の研修講義

呼吸・循環フィジカルアセスメント

画像と血液データの見方

人工呼吸器装着患者看護

ラダー I (4回) + ラダー II a (3回)

新採用者へのRSTチーム活動紹介: 1回/年

### —今年度の成果と反省点—

前年度と比べRST対象患者が大幅に増加した理由として、積極的なRSTの広報による認知度のUPと、人工呼吸器離脱成績の向上、人工呼吸器離脱以外の呼吸ケアの相談の増加が考えられる。人工呼吸器離脱の増加が医療スタッフの信頼につながり、人工呼吸器関連以外の呼吸ケアの相談件数の増加につながったと考えられる。

### —来年度への抱負—

来年度は呼吸器内科医が2名増員になり、常勤医もRSTに参加することから、質の高い呼吸ケアの提供が図れる。来年度はRSTラウンドと個人ラウンドの連動を強化させ、質の高い呼吸ケアの提案を行い呼吸に関連した様々な問題解決に取り組み、さらなるスタッフの信頼を得られる活動を行っていきたい。

